



●令和6年度活動功労賞の受賞

6月8日の日本色彩学会全国大会（米沢）25の式典にて、「令和6年度活動功労賞」を受賞しました。2期5年間の主査活動の中で、「カラーチャットセッション」と「色彩教材ギャラリートーク」を立ち上げて実施しました。狙いは「研究会員内外の交流」「実学と学術の融合」「文理融合」「STEAMの導入」です。教材研究会で大切なことは、「主体的に取り組み、仲間を巻き込み、既成概念にとらわれない新しい色彩教材を生み出し、学会などで発表すること」に尽きます。ぜひ色彩教材研究会を利用して、ステップアップして欲しいと願っております。

最後に、この「活動功労賞」は、幹事・顧問・幹事を始め、多くの方々のご理解とご尽力により受賞させていただけたものと信、関係のみなさまに捧げます。心より御礼を申し上げます。（顧問：吉澤陽介、6月より理事）



●更に「JIS Z8120 光学用語」から

c) 材料関係の、1) 光学材料では、光学ガラスがクラウンガラス群とフリントガラス群に対物され詳細を示す図が示されている。その上で、けい酸塩ガラス、ほう酸塩ガラス、けいほう酸塩ガラス、りん酸塩ガラス、クラウンガラス群、フリントガラス群などの種類が示され、光学結晶、一軸結晶、二軸結晶、と、プラスチック系のポリカーボネート、ポリシウチレンなどの50項目が定義されている。

2) 写真感光材料では、写真乳剤、ハロゲン化銀、写真乾板、写真フィルム、ネガフィルム、リバーサルフィルム、ラチチュード、潜像、現像、定着などの49項目が定義されている。

3) 光ファイバ材料では、石英系光ファイバ、多成分系ファイバ、全プラスチック光ファイバなどの6項目が定義されている。

4) 画像表示材料では、液晶、カラーフィルタ、蛍光体、アモルファスシリコン、エレクトロルミネッセンスなどの14項目が定義されている。

5) 非線形光学材料では、電気光学材料やフォトニック結晶などの7項目が定義されている。

(永田泰弘)

●大辞泉ひろいよみ 82一こ

黄帝：こうてい。中国古代の伝説上の皇帝。五帝の一人。

光度：こうど。一定の方向から見た、光源の明るさの度合いを表す量。単位立体角当たりの光束当たりの光束の値で表す。単位はカンデラ。

紅土：こうど。ラテライト。

黄土：こうど。おうど。死後の世界。あの世。黄泉。

紅灯：こうとう。赤い灯火。また、赤い紙を張った丸い小さな提灯。色町のともし火。歓楽街の華やかな明かり。

黄道：こうどう。地球から見て、天球上を太陽が一年かかって一周する大円の経路。黄道面は地球の公転軌道面と同じ。

黄銅：こうどう。真鍮と同じ。

紅梅：こうばい。梅の一品種、濃い桃色の花が咲く。濃い桃色。紅梅色。襲の色目の名。表は紅色、裏は紫または蘇芳色。春に用いる。織り色の名。紫色の縦糸と紅色の横糸で織ったもの。

紅梅匂：襲の色目の名。濃い紅梅を下に、順に薄くなるよう紅梅を重ねるもの。

黄梅：こうばい。黄色く熟した梅の実。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

(永田泰弘)